
黒い瞳の契約者

犬月ナオ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

黒い瞳の契約者

【Nコード】

N4951H

【作者名】

犬月ナオ

【あらすじ】

この世界には二つの世界が存在する人間や動物がすむ人界魔族や魔物がすむ魔界不介入と言う形で両者は均衡を保っていたが10年前ある事件をきっかけに両者の均衡は崩れ二つの世界は繋がってしまったそれによって人間と魔族との交流が始まったのはいいことなのだが一方で悪事を目的として契約と言う形で人間に力を与える魔族が出てきた。一般にそれらのことを契約者と言う一方契約者を狩る為に魔族と契約を結んだ者を監視者と呼んだ……

プロローグ

「無駄な抵抗をやめて出てきなさい」

今日オープンしたばかりのショッピングモールの周りは 警察の車両が包囲していた

「たくつ中村なかむらと藍原あいはらはどうした！ 連絡は取れているんだろっな？」

そついい終わると榎村警部まきむらはため息をついた監視者まきせとは言え自分より若い人間をあてにしなければいけない自分を呪った

2

「すみません・・・遅れました」

「道がこんでたんですよ 怒るとしわ

が増えますよ」

気がついて振り返ってみると学ランを着た少年とセーラー服を着少女が立っていた

ああ来てしまったこれで書類仕事が増えてしまった槇村はそう思った

「知ってると思うが立て籠もっている犯人はレベルBの契約者だ10分でかたずけてくれ」

それを聞くと少年が不敵な笑みをつかべて言った

「レベルBか雑魚だな」

少年がそう言つと少女が笑顔で少年に蹴りを食らわせた

「じあー今回の仕事は私がやるから慎吾は見てなよ」

受け身の態勢から戻りながら少女の方を向いて慎吾が静かな口調で言った

「真希おまえもレベルBだろ」

「なっ……あんなんかに言われたくな

いわよ朴念仁」

「ゴリラ女に言われたくないな」

落ちた

真希と慎吾がにらみ合っていると槇村の雷が

「2人でさっさとかたずけてこい！」

っていった

真希と慎吾はやれやれと言う感じで建物の中に入

決着がついたのは 2分後だった建物の中から出てきた二人は 無傷だったのに対して 犯人は重症だった

「たくっ力を加減しろと言っただろ」

いた

槇村が怒ると言うより呆れたと言う顔をして

もん！」

「だってー私にばかり攻撃してくるんだ

真希がそう言った 慎吾を見ると俺は手を出してないそう言わんばかりに首をすくめた

おおかた調子に乗った犯人が真希の身体に触ったのだろう それに真希が錯乱して今の状態になっているわけだ

「はぁーったく」

槇村は身体から力が抜ける気がした

プロローグ（後書き）

初めての作品なので楽しんでいただけたら幸いです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4951h/>

黒い瞳の契約者

2010年10月15日13時51分発行